

# 役員及び評議員の報酬等に関する規程

## (目的及び意義)

第1条 この規程は、社会福祉法人同潤会（以下「この法人」という。）の定款第八条及び第二一条の規定に基づき、役員及び評議員の報酬等に関し必要な事項を定めることを目的とする。

## (定義等)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 役員とは、理事及び監事をいい、評議員と併せて役員等という。
- (2) 常勤の理事とは、理事のうち、この法人を主たる勤務場所とする者をいう。
- (3) 非常勤の役員とは、役員のうち、常勤の理事以外の者をいう。
- (4) 報酬等とは、報酬、賞与その他の職務執行の対価として受ける財産上の利益であって、その名称の如何を問わない。また、費用とは明確に区分されるものとする。
- (5) 費用とは、職務遂行に伴い発生する交通費、旅費（宿泊費を含む）及び手数料等の経費をいい、報酬とは明確に区分されるものとする。

## (報酬等の支給)

第3条 役員等に対しては、職務執行の対価として、次のとおり報酬等を支給するものとする。ただし、この法人の職員を兼務し、職員給与が支給されている役員等に対しては、別表に定める通り報酬を支給する。

- (1) 常勤の理事報酬（賞与を含む）
- (2) 非常勤の役員報酬
- (3) 評議員報酬

2 常勤の理事に対して支給する一人あたりの各年度の総額（賞与を含む）は、500万円を超えない範囲とする。

表1（常勤の理事の報酬）

役職名	報酬の額
理事長	月額 33万円
理事（施設職員）	月額 2万円

表2（常勤の理事の賞与）

6月の賞与	報酬月額×1.2ヶ月分
12月の賞与	報酬月額×1.2ヶ月分

※ 施設職員である場合はこれを支給しない。

表3（非常勤の役員の報酬）

（1）理事

	日額報酬	交通費
理事会等会議への出席	7,000円	3,000円
上記の他、法人・施設業務のための出勤	12,000円	3,000円

（2）監事

	日額報酬	交通費
監事監査等への出席	7,000円	3,000円
上記の他、法人・施設業務のための出勤	12,000円	3,000円

表4（評議員の報酬）

	日額報酬	交通費
評議員会の出席	7,000円	3,000円
上記の他、法人・施設のための出勤	12,000円	3,000円

※表3、4については、日額報酬・交通費を含めた額を支給する。

（報酬等の額の算定方法）

第4条 常勤の理事に対する報酬等の額は、次に掲げる報酬等の区分に応じ、当該各号に定める範囲内で、理事会において決定する。

- (1) 第3条「表1」に定める額
- (2) 第3条「表2」に定める算式により算出される額
- 2 非常勤の役員に対する報酬の額は第3条「表3」に定める額とする。
- 3 評議員に対する報酬の額は第3条「表4」に定める額とする。

（報酬等の支給方法）

第5条 常勤の理事に対する報酬等の支給の時期は、次の各号による報酬等の区分に応じ、当該各号に定める時期とする。

- (1) 報酬毎月末日（ただし、その日が土曜日、日曜日又は祝日の場合は、職員給与規程第10条の規定に準じて支給）
- (2) 賞与毎年6月及び12月
- 2 非常勤の役員及び評議員に対する報酬は、理事会又は評議員会への出席など法人・施設運営のための業務にあたった都度、支給する。
- 3 報酬等は、現金により本人に支給する。ただし、本人の同意を得れば、本人の指定する本人名義の金融機関の口座に振り込むことができる。
- 4 報酬等は、法令の定めるところによる控除すべき金額を控除して支給する。

（費用）

第6条 役員等が出張する場合は、交通費の実費（寝台料金、座席指定料金を含む）及び宿泊費の実費のほか、次の表による出張手当を支給する。

- (1) 出張手当は旅行日数に応じて計算するものとする。なお、午後出張したとき、又は午

前に帰着したときは当日の出張手当の半額とする。

(2) 出張地にある自宅に宿泊する場合は宿泊費の半額を支給する。

(3) 出発、帰着日について午前 6 時までに出発した場合、又は午後 8 時をこえて帰着した場合は、それぞれ 1,000 円の加算を行う。

出張手当	3,000 円/日
------	-----------

2 役員等が職務の遂行に当たって旅費以外の費用を要する場合は、当該費用を支給する。

(報酬等の日割り計算)

第7条 新たに常勤の理事に就任した者には、その日から報酬を支給する。

2 常勤の理事が退任し、又は解任された場合は、前日までの報酬を支給する。

3 月の中途における就任、退任、又は解任の場合の報酬額については、その月の総日数から日曜日及び土曜日の日数を差し引いた日数を基礎として日割りによって計算する。

4 第2項の規定にかかわらず、常勤の理事が死亡によって退任した場合、その月までの報酬を支給する。

(端数の処理)

第8条 この規程により、計算金額に1円未満の端数が生じたときには、次のとおり端数処理を行う。

(1) 50銭未満の端数については、これを切り捨てる。

(2) 50銭以上1円未満の端数については、これを1円に切り上げる。

(公表)

第9条 この法人は、この規程をもって、社会福祉法第59条の2第1項2号に定める報酬等の支給の基準として公表する。

(補則)

第10条 この規程の実施に関し必要な事項は、理事長が理事会の決議を経て、別に定める。

(改廃)

第11条 この規程の改廃は、評議員会の承認を受けて行う。

附則

この規程は、平成 29 年6月1日より施行する。

社会福祉法人同潤会 役員等 名簿

職 名	氏 名
理 事 長	後藤 益男
理 事	河野 透
理 事	牧野 明
理 事	林 志保
理 事	有馬 純弘
理 事	後藤 文夫
監 事	西 龍士
監 事	山内 英資
評議員	田代 知代
評議員	長友 哲夫
評議員	田原 雅子
評議員	奥松由美子
評議員	山本美紀子
評議員	大木 繁徳
評議員	恒吉佳久子
評議員	井崎 勝美